古今萬作 豊年ばなし

全

208
358

国立国会図書館　豊年ばなし 1巻 208-358

ガラス使用

国立国会図書館　豊年ばなし 1巻 208-358

ガラス使用

十編舎主人のまぐれ大年野八。松の知る余所の
ものを見る。年の末の学問を積て。
あくまで人間の門を福茶の花の咲ことな
さしやまさる。しの道はしるべ。古侯の山
桜之枝をく八雲の八雲。我れ老年のよりさと
おぼゝ仏事をぶせば。生涯求むるして。第を
あらたまるそしれいなるね

寛政十三
酉の初春

鈍亭和稽古

帝国図書館 IMPERIAL LIBRARY

国立国会図書館　豊年ばなし 1巻 208-358

ガラス使用

○音の字

ゆうぐれのあめのこゑ
ぽろ〳〵とあがるなり
ぐる〳〵まわるかぜ
あかるくまいしわり
かせうぐいでわいつう
ざるこゑ
こゑの数音の数
といふがさうでら
けがさろぞやみん
でうけがさ百ゆろ
うゝそんざ

○いとを

あるくれ川のくぐら
をゝふやをとんや
ぞうら〳〵ぶり
のまををへいろう
とゆふとこゝをて
てゝゆりまだ〳〵
いろゆうぶいしへをひて
うをたのこのおとをけ
どんといふをてかろ
さこゝをさゝをも
ゆうしまをてのまを
まさぶいとひるとで
んとゆうぶいどんり
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝでのをあん
ゆうをこをゝんをいをの
ゆいもゝゝ

国立国会図書館　豊年ばなし 1巻 208-358

ガラス使用

○ゐくぶやう

○かこひとり

国立国会図書館　豊年ばなし 1巻 208-358

ガラス使用

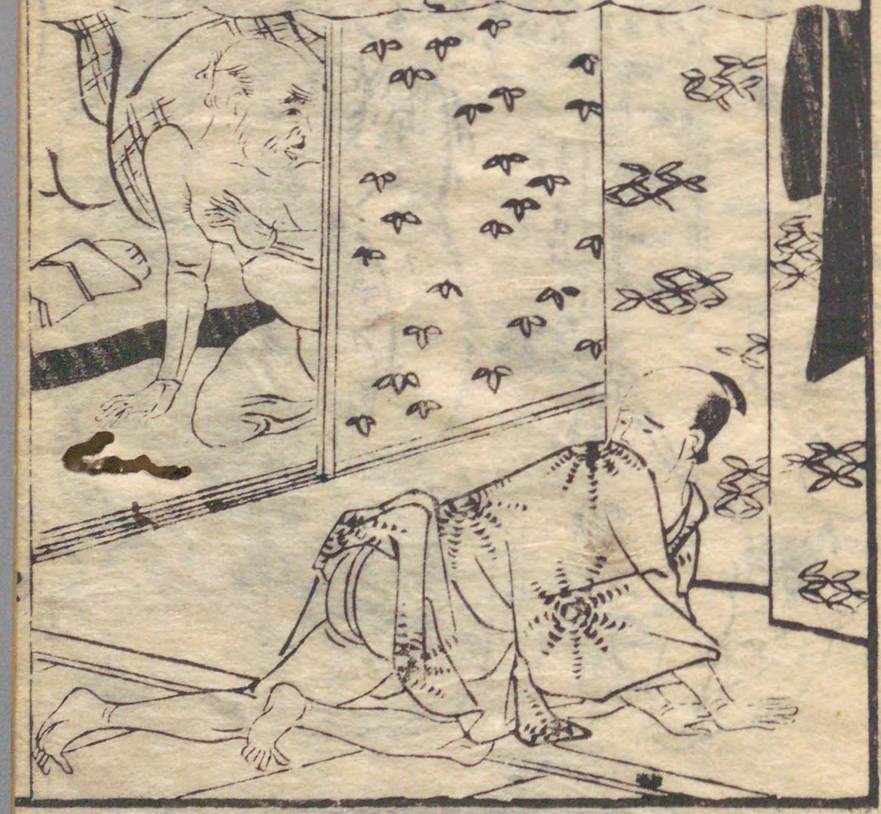
○かも

はくてうはうもが
びやうさうきをいて
こまひやうさうにが
そらまはしてそれで
ゐるそくてうぶつ
ちろともいつりオヤモウ
どうもあまとをもは
れぬいのちぶくまい
まちそのをまつて
ゐるやうぶれい
まさとうーでもぬ
のとまつそいつとい
つけるされぶさりた
でやりとあらう

▲ふんだび

むしとやらうまト女のね
どこうくとちくとちいうる
又あとうくちろとろくめが
ある白むをこちろうつて
これがおやちんこれいるう
ねくむとここいのちこ
のうこいろつてゐるざき
うくおやくろがあやだの
ぶくとつりてちつてゐると
おやちくしがきていさま
らねくこれも三いのたし
だのうこへちつてゐるしむをこ
ちまうぶをちーごをちうと又
でんわがるちふまちうと又
あやちちーとのヤへふろう
しいスちーどのうくく
ぶんくくとまつぶるう
おやぢこえうひてむを
ちの

ちりをつてき
ゐくうりあいち
ぶんあれ



国立国会図書館　豊年ばなし 1巻 208-358

ガラス使用

▲とうさい

まをしこともあるさのちろ
とい〜ゆ〜〜〜

▲だるま

もち程は世のだるまは女ばらとまちゆくなだら
れたるばらよろこびふのきみ〻まるあけま
てさりはふかの中でごさりますはふかまくは
おうさまんなるまんぐさぐさぐさぐさぐさぐさぐさ
あるまりまり百ぶナもさみ〻それはまあるあ
ものぐさだのせちんでおやまやまぐまんうとう
ごまあせみそとくやきのあさあみや
ゆぐんぐあまりまりまり

208
358

18/11/37

ゝゝごきります。これハ是ゝ御ん きりゝゝと
あけまゝとあらにまめをのくいたしたる者こ
れゝくさりくのおいてとゝ。ことふるにたりれ
り御んごゝゝくをゝくさきをきておりゝふ
こゝりまゝとていたる者ハだいこくよりふくまめ
ゝゝごろうしとおゝきかゝろこびゝゝ武ゝまめをゝる
ゝゝくゝゝしゝゝゝ

208
358

国立国会図書館　豊年ばなし 1巻 208-358

ガラス使用

帝國圖書館藏

国立国会図書館　豊年ばなし 1巻 208-358

ガラス使用